

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公表番号】特表2002-515869(P2002-515869A)

【公表日】平成14年5月28日(2002.5.28)

【出願番号】特願平9-533804

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 39/00

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00

C 0 7 K 7/00

C 1 2 N 15/09

【F I】

A 6 1 K 39/00 A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 K 7/00

A 6 1 K 37/02

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月22日(2004.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

16.3.22 適
平成 年 月 日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 事件の表示 平成9年特許願第533804号

2. 補正をする者

事件との関係 出願人

名 称 エピミューン インコーポレイテッド

3. 代理人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話(代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正により増加する請求項の数 18

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り

方 式



請求の範囲

1. 15未満のアミノ酸からなる単離ペプチドであって、以下のアミノ酸配列：

MTNNPPIPV (配列番号6)、

LTFGWCFKL (配列番号8)、

RILQQLLFI (配列番号18) 及び

KLVGKLNWA (配列番号19)

からなる群より選ばれるアミノ酸配列

を含むことを特徴とするペプチド。

2. アミノ酸配列：MTNNPPIPV (配列番号6) からなるペプチドである、請求項1に記載の単離ペプチド。

3. アミノ酸配列：LTFGWCFKL (配列番号8) からなるペプチドである、請求項1に記載の単離ペプチド。

4. アミノ酸配列：RILQQLLFI (配列番号18) からなるペプチドである、請求項1に記載の単離ペプチド。

5. アミノ酸配列：KLVGKLNWA (配列番号19) からなるペプチドである、請求項1に記載の単離ペプチド。

6. 前記単離ペプチドが別のペプチドに連結している、請求項1～5のいずれかに記載の単離ペプチド。

7. 前記単離ペプチドが第2分子に連結している、請求項1～5のいずれかに記載の単離ペプチド。

8. 前記第2分子が、脂質、ヘルパーT細胞エピトープ、細胞障害性Tリンパ球(CTL)エピトープ又は担体分子である、請求項7に記載の単離ペプチド。

9. 抗原提示細胞に存在するHLA-A2.1分子と複合体を形成している請求項1～8のいずれかに記載の単離ペプチドを含むことを特徴とする、組成物。

10. 請求項1～8のいずれかに記載のペプチド及び医薬的に許容しうる賦形剤を含むことを特徴とする、医薬組成物。

11. 相互に結合しているHIV由来CTLエピトープを含むポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を含む単離核酸であって、

1以上のエピトープが以下のアミノ酸配列：

MTNNPPIPV (配列番号6)、

LTFGWCFKL (配列番号8)、

RILQQQLLF I (配列番号18) 及び

KLVGKLNWA (配列番号19)

からなる群より選ばれるアミノ酸配列を含む

ことを特徴とする、単離核酸。

12. 前記エピトープの1つが、アミノ酸配列：MTNNPPIPV (配列番号6) からなるエピトープである、請求項11に記載の単離核酸。

13. 前記エピトープの1つが、アミノ酸配列：LTFGWCFKL (配列番号8) からなるエピトープである、請求項11に記載の単離核酸。

14. 前記エピトープの1つが、アミノ酸配列：RILQQQLLF I (配列番号18) からなるエピトープである、請求項11に記載の単離核酸。

15. 前記エピトープの1つが、アミノ酸配列：KLVGKLNWA (配列番号19) からなるエピトープである、請求項11に記載の単離核酸。

16. 前記ポリペプチドが、アミノ酸配列：MTNNPPIPV (配列番号6)、LTFGWCFKL (配列番号8)、RILQQQLLF I (配列番号18) 及びKLVGKLNWA (配列番号19) からなるエピトープを含んでいる、請求項11に記載の単離核酸。

17. 前記ポリペプチドが、1以上のCTLエピトープに隣接するフランギング配列を含んでいる、請求項11～16のいずれかに記載の単離核酸。

18. 請求項11～17のいずれかに記載の核酸によりコードされるポリペプチド。

19. 請求項11～17のいずれかに記載の単離核酸及び医薬的に許容しうる賦形剤を含むことを特徴とする、医薬組成物。

20. 免疫原性ペプチド組成物を使用する方法であって、

15未満のアミノ酸からなる単離ペプチドであって、以下のアミノ酸配列：

MTNNPPIPV (配列番号6)、

LTFGWCFKL (配列番号8)、

R I L Q Q L L F I (配列番号18) 及び

K L V G K L N W A (配列番号19)

からなる群より選ばれるアミノ酸配列を含むペプチドを提供する工程；

該免疫原性ペプチドと HLA A2. 1分子との複合体を形成する工程、

HLA A2. 1-制限CTLと、該ペプチドと HLA A2. 1分子との複合体とをインビトロで接触させて、CTL応答を誘導する工程を含むことを特徴とする方法。

21. 前記ペプチドが、アミノ酸配列：M T N N P P I P V (配列番号6) からなるペプチドである、請求項20に記載の方法。

22. 前記ペプチドが、アミノ酸配列：L T F G W C F K L (配列番号8) からなるペプチドである、請求項20に記載の方法。

23. 前記ペプチドが、アミノ酸配列：R I L Q Q L L F I (配列番号18) からなるペプチドである、請求項20に記載の方法。

24. 前記ペプチドが、アミノ酸配列：K L V G K L N W A (配列番号19) からなるペプチドである、請求項20に記載の方法。

25. H I V感染を治療又は予防するための薬剤を製造するための免疫原性ペプチドの使用であって、

該ペプチドが15未満のアミノ酸からなるペプチドであって、以下のアミノ酸配列：

M T N N P P I P V (配列番号6)、

L T F G W C F K L (配列番号8)、

R I L Q Q L L F I (配列番号18) 及び

K L V G K L N W A (配列番号19)

からなる群より選ばれるアミノ酸配列を含むペプチドであることを特徴とする使用。

26. 前記ペプチドが、アミノ酸配列：M T N N P P I P V (配列番号6) からなるペプチドである、請求項25に記載の使用。

27. 前記ペプチドが、アミノ酸配列：L T F G W C F K L (配列番号8) からなるペプチドである、請求項25に記載の使用。

28. 前記ペプチドが、アミノ酸配列：R I L Q Q L L F I (配列番号18) からなるペプチドである、請求項25に記載の使用。

29. 前記ペプチドが、アミノ酸配列：K L V G K L N W A (配列番号19) からなるペプチドである、請求項25に記載の使用。

30. H I V感染を治療又は予防するための薬剤を製造するための核酸の使用であつて、

該核酸が、相互に結合しているH I V由来C T Lエピトープを含むポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を含み、

該1以上のエピトープが以下のアミノ酸配列：

M T N N P P I P V (配列番号6)、

L T F G W C F K L (配列番号8)、

R I L Q Q L L F I (配列番号18) 及び

K L V G K L N W A (配列番号19)

からなる群より選ばれるアミノ酸配列を含む

ことを特徴とする、使用。

31. 前記エピトープの1つが、アミノ酸配列：M T N N P P I P V (配列番号6) からなるエピトープである、請求項30に記載の使用。

32. 前記エピトープの1つが、アミノ酸配列：L T F G W C F K L (配列番号8) からなるエピトープである、請求項30に記載の使用。

33. 前記エピトープの1つが、アミノ酸配列：R I L Q Q L L F I (配列番号18) からなるエピトープである、請求項30に記載の使用。

34. 前記エピトープの1つが、アミノ酸配列：K L V G K L N W A (配列番号19) からなるエピトープである、請求項30に記載の使用。

35. 前記ポリペプチドが、アミノ酸配列：M T N N P P I P V (配列番号6)、
L T F G W C F K L (配列番号8)、R I L Q Q L L F I (配列番号18) 及びK
L V G K L N W A (配列番号19) からなるエピトープを含んでいる、請求項30に記載の使用。

36. 前記ポリペプチドが、1以上のC T Lエピトープに隣接するフランкиング配列を含んでいる、請求項30～35のいずれかに記載の使用。

37. HLA-A2.1分子が細胞上に発現している、請求項20～24のいずれかに記載の方法。